

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名【新】先進的な林業機械等導入促進事業費補助金（R7国補正）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

政部 森林経営課 スマート林業推進係 電話番号：058-272-1111(内4387)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 14,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	14,000	14,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	14,000	14,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

木材加工流通施設や木質バイオマス発電所等による木材需要が増加する中、木材生産の担い手である本県の森林技術者数は、近年900人前後で推移しており、大幅な増加は期待できない状況にある。今後も安定的な木材供給を図るためには、生産性の向上が必要不可欠である。

このため、国補正予算を活用し、原木供給の担い手である林業事業体が先進的な林業機械等を導入する経費を支援し、生産性の向上及び木材生産量の増加促進を図る。

（２）事業内容

林業事業体の体質強化を促進するため、先進的な林業機械等を導入する意欲と能力のある林業経営体等に対して助成する。

補助対象 先進的な林業機械等(スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ等)

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

補助率 定額（素材生産量1,000m³当たり2,000千円。上限は機械購入価格の1/2）

(4) 類似事業の有無

有（林業構造改善事業費補助金）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	14,000	先進的な林業機械等の導入に対する支援
合計	14,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

2 林業・木材産業の振興

(2) DXの推進による林業・木材産業改革

(イ) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

(c) 高性能林業機械の導入等によるスマート林業の推進

(2) 国・他県の状況

国の補助事業であり、全国的に活用されている。

(3) 後年度の財政負担

国庫補助事業を活用し継続的に支援する。

(4) 事業主体及びその妥当性

1) 事業主体：県が選定した育成を図る林業経営体

2) 妥当性：国要綱に基づくもので、事業主体として妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

原木供給の低コスト化等を通じた体質強化により、林業経営体の生産性向上及び木材生産量の増加を促進する。

これにより、第4期岐阜県森林づくり基本計画終了年度の令和8年度に、木材生産量65万m³、木材生産性7.0m³/人日を達成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①木材生産量 (千m ³)	438	599	682	638	650	92%
②木材生産性 (m ³ /人日)	4.2	5.5	5.5	6.7	7.0	79%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今後、更に木材生産性を高めるためには、先進的な林業機械等の導入とともに、作業システムの見直しや工程管理改善の取り組みが重要となる。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

事業継続を望む声も多く、引き続き、木材生産量の拡大、効率的な木材生産体制の強化を図るために、先進的な林業機械等を導入する林業事業体を支援する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】